



おがさわら

議会だより

第 157 号



日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式

目次

予算特別委員会……………	2
一般質問……………	4
議案審議・委員会報告……………	8
表彰・議長出張報告……………	10
出張報告……………	11
編集後記……………	12

終戦 80 年を迎える今年、日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式へ出席してきました。石破茂内閣総理大臣をはじめ多くの国会議員の参列もあり、改めて硫黄島の現実をお伝えできる機会となりました。今年度、小笠原村では、硫黄島訪島事業の充実を図る予算を措置しています。小笠原村議会としても、小笠原村の実施する事業に積極的に協力して参ります。

議長 池田 望

物価高の影響による歳出予算増、村職員定数確保等課題多い中、各事業適正な執行を求める！！

村長から令和7年度予算案の議案提出を受け、村議会では予算特別委員会を設置し、2日間にわたり審査をいたしました。その結果、委員全員の賛成ですべての予算案が提案どおり可決し、議長宛に報告書を提出しました。

令和7年度予算特別委員会 委員長報告

令和7年度予算においては、世界自然遺産地にふさわしい環境関連施策の推進、小笠原の特色を活かした産業の振興、村民生活の安心・安全、良好な生活環境の創出、保健・福祉・医療・教育の充実、新規事業として「嶋谷市左衛門顕彰事業」「終戦80周年記念事業」を基軸として編成されており、小笠原村職員の負担は増加していくが、責任ある対応を図るとともに、職員の定数確保に努められたい。

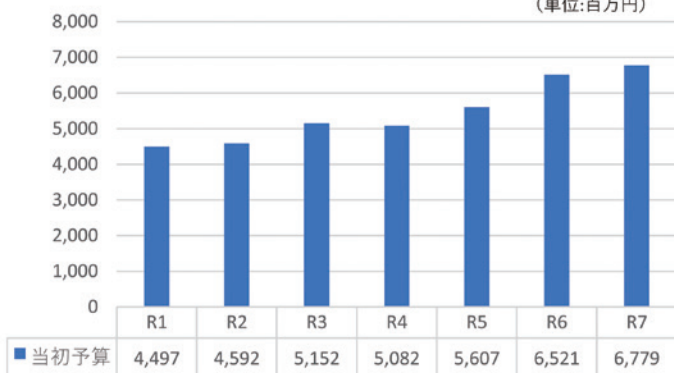
現在見込める財源は確実に収入することはもとより、ふるさと納税をはじめ、自助努力による新たな財源確保について、あらゆる可能性を模索されたい。

予算の執行にあたっては、前年度より引き続き、小笠原小中学校など大規模な整備事業が行われるが、確実な整備を進めるとともに、慎重な財政運営に努められたい。他の事業においても進捗管理を計画的に行い、未執行事業を出すことのないよう努められたい。

なお、本予算特別委員会の審議の中で、予算審議を可決した経緯も考慮し、各委員からの指摘があった事項については、今後の施策、財政運営に積極的に取り組み、村民生活の安定・向上のために予算を確実に執行されたい。

令和元年～令和6年一般会計当初予算の推移

(単位:百万円)



令和7年度 各会計当初予算額

会計名	予算額 (千円)
一般会計	6,778,193
国民健康保険特別会計	371,853
宅地造成事業特別会計	18,857
介護保険（保健事業勘定）特別会計	117,462
介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計	202,863
後期高齢者医療特別会計	49,836
簡易水道事業会計	453,335
生活排水処理事業会計	272,242
合 計	8,264,641

一般会計の予算約68億円の内訳



父母村民交流活性化促進事業
約1,100万円



Ogasawara Smile Tourism
プロモーション事業
660万円



嶋谷市左衛門小笠原巡検
350周年記念事業
約940万円



小笠原小学校・
母島児童福祉施設工事
約8.5億円

問う!

予算案に活発な議論! 要約抜粋し掲載します!!

自主財源確保

問 税収増が厳しい状況下、自主財源増の方策は考えているか(清水)

答 自主財源増に限らず、交付金、補助金の活用を図る(村長)

父母村民交流活性化促進事業

問 事業内容は(平野)

答 父島、母島村民交流を一層促進する目的にははじめ丸1往復運賃補助。利用条件整え、5月から開始予定(企画政策室長)



地球温暖化対策事業

問 事業内容は(清水)

答 ゼロカーボン地域推進会議構成員旅費、本会議運営委託(会議運営、普及啓発等)、ゼロカーボンシティ宣言から取り組んでいる省エネ家電補助(環境課長)

問 学校との連携等普及の予算は(清水)

答 学校との連携、ゼロカーボンワークショップ開催は、令和6年度同様、職員にて実施予定のため、予算額は0円(環境課長)



家電補助(小笠原村HP)

村営バス事業

問 村営バス購入車両は、観光客が楽しめるオープンタイプ、自転車積載できるなど検討は(清水)

答 メンテナンスのこと、更新時期6月に間に合わせるため現在と同車種。自転車積載は、積み下ろしに係る時間、安全面から行わない(産業観光課長)



問 自動運転バス導入は(安藤)

答 自動運転バスは、車両価格約1億円弱。年間維持経費約8,000万円。現在約250万円。3倍以上の経費となる。時期尚早と判断(産業観光課長)

問 村の施策として、smileツールズを推進しているが、更新バスの仕様には、キャッシュレス促進の対応検討は(平野)

答 検討していない(産業観光課長)

高齢者社会対策事業

問 フラットハウス外壁補修工事において駐車場整備は(片股)

答 含まれていない。必要箇所は、修繕費にて対応(村民課長)



診療所運営事業

問 専門医研修派遣連携事業とは(清水)

答 代替医師派遣に要する東海大学との連携に係る費用(医療課長)

シロアリ対策事業

問 シロアリ対策事業費昨年度より約450万円増理由は(稲垣)

答 シロアリ群飛調査調査に要する備品、新たに設置するトラップ製作、薬剤の土壌残留濃度分析に要する経費増(環境課長)

観光団体支援事業

問 小笠原村観光協会補助金約4,300万円。前年度より増。OEM冷凍食課題解決事業とは(平野)

答 宿泊事業者が食事の提供ができない課題がある。課題解決に向け、小笠原村観光協会が主体となり、公益財団法人東京観光財団の補助金を活用し、宿泊事業者の課題解消のため本土で冷凍食品を島に運び宿泊者へ提供。事業費予算2,340万増。事業予算に対し2/3補助(産業観光課長)



道路橋りょう事業

問 清瀬トンネル照明改修工事照明の増設、更新その内容は(片股)

答 平成21年設置したトンネル照明14か所更新(建設水道課長)



土木管理事業

問 洲崎新発生土置場整備工事内容は(清水)

答 工事(行文線、小中学校改築等)から今後発生する残土の見込み数量から新たに整備が必要。旧自動車教習所跡地に整備(建設水道課長)

道路整備事業

問 無電柱化チャレンジ事業(沖村一号线測量業務委託)の計画内容を(安藤)

答 測量設計(東京都補助100%)、工事(国補助50%、東京都補助50%)。母島沖村一号线(前田商店前から小中学校先)の区間。令和7年度測量、令和8年度基本設計、令和9年度実施設計、令和10年度工事着手予定(建設水道課長)

社会教育事業

問 おが高夢応援事業、高校生にどのように活用を促すのか(平野)

答 応募を待つのではなく、この2年で直接顔を合わせ説明することが重要と認識し、直接、学校にて説明会を実施(教育課長)

問 嶋谷市左衛門小笠原巡検350周年記念事業予算内訳は(平野)

答 関連講演会、展示会、記念碑制作、祈念式典、委員報酬等(教育長)



【一般質問一覧】

● 片股敬昌

1. 緊急時における司令塔、村長の役割について
2. 小笠原のサーフィンというスポーツについて

● 清水良一

1. タコの葉細工を村指定の無形文化財に
2. 地球温暖化対策実行計画の進捗

● 安藤重行

1. 施政方針について



● 宮城ジャイアン

1. 母島の介護における地域協力体制について
2. 村役場の人員不足の現状、課題、対策について
3. 小笠原の学校における教育について

● 平野悠介

1. おがさわら丸 係船機器故障
2. 義務教育学校 父島での導入について
3. 村の下水管の状況について

● 稲垣勇

1. 母島のシロアリの現状とその対策について

● 杉田一男

1. 施政方針について

自衛隊の明確な地位確立が必要ではないか

村長…国が憲法改正などの議論の中で整理すべき

その他の
質問事項

・オリンピックで注目されたサーフィン、
観光としてどう捉えているか

自衛隊の皆さん
に誇りをもって
働いてほしい



片股 敬昌

- 問** 緊急時に小笠原の司令塔は村長となっているが、自衛隊、警察などが村長の指示のもとに行動できる体制になっているか。
- 答** 各機関が責任をもって指揮することになっている。機関相互の調整を行ったうえで村は村長が指揮する。消防は村長の指揮下にある。
- 問** 自衛隊に支援を期待しているか。
- 答** 分遣隊敷地は海抜の低いところにあるので浸水被害を受ける想定である。そのうえで可能な限りの人的、物的支援をお願いしたい。
- 問** 自衛隊の主たる任務は災害派遣ではなく国防にある。誇りをもって働いていただくためには明確な位置づけが必要。
- 答** 昨今議論されている憲法改正などの中で、国がきちんと整理すべきだ。
- 問** 小笠原村では波乗りを楽しむ人たちがいる。オリンピックで注目されるようになったが村ではどのような位置づけなのか。
- 答** 波が立つタイミング、海底がサンゴや岩場であること等、諸事情から大きな広がりを見せていない。観光資源にはならないと思う。
- 問** 波乗りは若者の定着につながるか。波乗りでケガをした人を見てきたが、注意喚起の方策は。
- 答** 定住の理由のひとつにはなると思うが動機は様々であると考ええる。パンフレットなどの紹介は考えていない。

①タコの葉細工を無形文化財に！ ②地球温暖化対策実行計画の進捗



清水 良一



- ①有形無形を問わず生き続ける文化に注視していく
- ②ワークショップや学校授業との連携による普及啓発を強化

海辺の木陰や棕櫚ぶき屋根の下は最高のクールシェアスポット！

問 棕櫚ぶき屋根、アウトリガーカヌー、タコの葉細工は非常に珍しい文化、特にタコの葉細工を研究している団体より無形文化財への強い要望があった。村としての考えは？

答 タコの葉細工は無形文化財として整い次第、文化財保護審議会に諮問し適切に対応する。

問 地球温暖化対策実行計画の今年度の進捗と来年度の重点政策について伺う。

答 今年度母島ではEV車の購入、シェアサイクル実証実験を終え、父島火葬場、福祉センター、クリーンセンターへのLED化を実施、ゼロカーボン推進地域会議の開催、村民だよりによる普及啓発やごみ分別ハンドブックの作成等を進め焼却ゴミの減量を図っている。来年度は母島再生可能エネルギー実証事業開始が夏に予定。照明のLED化工事も計上。

問 電気使用量を月別に捉え前年実績との対比を村民だよりで検証できるようにした。

10月は例年に比べ気温が高くエアコンの使用が増え電気使用量が増えたと推測される。暑さ対策と節電対策としてクールシェアという方策があるが検討をお願いしたい。

答 クールシェアとは複数のエアコン使用をやめ、エアコンの効いた公共施設等の中で涼む等、節電につながる取り組みであると承知している。この考え方の広報は今後考えていく。

戦後80年の節目に『不戦と恒久平和』を体現！ 地球温暖化対策に地中熱の活用を提案！



安藤 重行



地中熱に関する情報はこちら

村長・・・村民皆『不戦と恒久平和』を新たに！

環境負荷の少ない再エネの活用の調査必要！

再エネの時代だ～！

問 戦後80周年の節目に『不戦と恒久平和』の誓いをどう体現させるのか資料館等の設置が重要では。最後の1柱まで収骨を！

答 資料館も1つの方法だが村民に強く不戦と恒久平和を持ち続けて頂く為に追悼式等を捉えて慰霊の機会を事業化する。1柱でも多く収骨する。

問 クラブハウスの老朽化建替や一度も実施されたことがないグラウンドの整地をして、適正な管理措置が必要！

答 設備の更新修繕等に対応。財政面で再整備が難しいので、村全体計画の中で対応を考える。維持管理も模索していく。

問 温暖化対策実行計画で再生可能エネルギーの活用では環境負荷の少ない地中熱利用を提案。エネルギーの混在化が進む中で活用を。

答 エネルギーの自給や防災力強化、環境保全の両立が厳しい課題。生態系や景観も限定的で導入の可能性のある候補。導入課題のコスト面などの調査必要。

問 明るく活力ある高齢社会を作るため、生涯教育と雇用や身体を動かせる場所が必要。

答 雇用の機会を確保し介護予防体操やイベント等を実施し、楽しく参加できるように配慮する。専門機関のアドバイスも参考に検討。

① 母島の介護、地域協力体制について

② 役場の人員不足、対策 ③ 学校の副読本の改定を！



宮城 ジャイアン

- ① ケースごとに協力、調整していく。
- ② 職員定着に向け、アンケートなど実施していく。
- ③ 現場のニーズを捉えながら判断していく。

島の未来は
教育が大事です！
島っ子に色んな
チャンスを！



受け止める。奨学金は島に戻って10年で返済不要になる仕組みがある。

答 副読本は昭和に作られ、平成6年改定から時間が経っている。学校現場のニーズも捉えながら判断していく。島留学は意見を

受け止める。奨学金は島に戻って10年で返済不要になる仕組みがある。

問 世界遺産登録後、自然向け教育は多いが、歴史文化は少ない。生活インフラも内地の内容が多く、島の実情を教員も知らない。小学校、中学校の副読本は情報が古い。改定できないか？母島は子供が減る見込み。島留学などは？島出身を応援する仕組みは？

答 9名欠員。行政サービスに支障ないよう早急な補充が必要。採用は条件を工夫して実施している。若手にアンケートを実施、育成、離職防止のために工夫していく。

問 役場の中堅職員の退職が続いている。人が足りないのと、頑張ってくれている職員の疲弊→退職に繋がる。4月採用後の欠員、課題、対策は？

答 包括支援センターと協力、調整していきたい。守秘義務は本人の意思を尊重した対応をしていきたい。

問 母島には入所施設がない。内地と事情も環境も違うので、島独自の仕組みが必要。母島の地域力を活かし、検討できる仕組みづくりは？守秘義務も搬送時など弊害あり。情報共有の範囲を事前確認できないか？

答 包括支援センターと協力、調整していきたい。守秘義務は本人の意思を尊重した対応をしていきたい。

おがさわら丸係船機器故障、海運への村の対応は

村長…原因究明と再発防止策の要請と、利用者への早急な説明を強く求めた

その他の
質問事項

- ・下水管は大丈夫か
- ・父島での義務教育学校開始は

子ども達が安心
して暮らせる村
づくりを



平野 悠介

報、説明を行っていく。

答 小中学校一体となる建て替え完了時期が最適。令和7年度から小笠原村立学校小中一貫教育推進協議会を設置、義務教育学校の在り方を研究。十分な準備期間をもって広報、説明を行っていく。

問 父島での義務教育学校の開始時期は。村民への周知方法は。

答 平成23年までに更新完了。令和4年に全線TVカメラ調査、重大事故に至る不具合は無い。今後も定期的な点検を実施。

問 八潮市の事故を受けて、専門家委員会からは全国で一斉調査を行う答申。村の下水管の状況と定期的な点検状況は。

答 平成23年までに更新完了。令和4年に全線TVカメラ調査、重大事故に至る不具合は無い。今後も定期的な点検を実施。

問 定期船の停止は災害に匹敵する。安定したアクセス手段の確保として、都や国への働きかけの状況は。

答 東京都離島航路地域協議会で課題と認識し、今後も議論。村も安定運営を国、都、運輸会社にも求める。

問 昨年12月の定期船の係船機器故障について経緯と村の対応は。運輸会社としての説明責任があるが村民への説明は。

答 村は、1日も早い運航再開を目指して関係機関との調整に全力を尽くした。運輸会社には原因究明と再発防止策を要望、利用者への早期の説明を強く求めた。1月16日には運輸会社ホームページで発表された。

母島のイエシロアリの現状とその対策について伺う

環境課長…北部で8万頭の捕獲あり。



集落内での確認は非常に憂慮すべき。
群飛調査の強化を図って行く。

母島の集落に
イエシロアリを
入れないぞ！



稲垣 勇

問 母島のイエシロアリの現状と、今年度のシロアリ対策事業における群飛調査や対策について伺う。

答 母島北部の夜間調査については、今年度5月22日から6月15日間の結果、調査期間を昨年度より15日間延長したことにより、約8万8千頭捕獲。今年度は新夕日ヶ丘で100頭近く捕獲があった。集落付近、蝙蝠谷農業団地、静沢、元地集落内、乳房ダムや中ノ平草木置場まで43箇所ライトトラップを設置し、39日間群飛調査した。合計で441頭の捕獲があった。集落内確認は非常に憂慮すべき事態である。集落内対策強化の必要性を感じている。

問 集落で2年ぶりにイエシロアリの捕獲は非常に心配している。引き続き対策の強化を、来年度の母島のシロアリ対策事業の方針は。

答 群飛調査の強化を図って行く、新型トラップの設置ライン数を増し効率的な営巣探索対策を進めていく。薬剤の使用範囲を拡大し、代替薬剤の土壌残留濃度調査、マイマイへの影響調査を目的に広域分布種であるマイマイへの暴露試験について実施予定としている。

問 母島の復興が始まった当時より、イエシロアリは持ち込まない、持ち込ませない事でも来たのが、今や集落近くまで飛来して来ている。強力な対策を要望して行きます。

南海トラフ地震を想定した防災対策は万全か



その他の 質問事項

村職員減に伴う村内影響を
防ぐ取り組みを

備えあれば
憂いなし



杉田 一男

問 昨年1月1日の能登地震発生以来南海トラフ地震を想定させる様な災害が多発している中で支援体制の遅れが目立つ。南海トラフ地震では太平洋側の大都市全てが大きな被害が想定され、孤立化が懸念される中で住民の安全確保の対策構築に向けて関係機関に対する働きかけは。また、被災した際の長期化に備えた備蓄品数を増やすことの検討は。

答 被害時の災害対策については、東京都をはじめ関係機関と連携し対応していく。また、備蓄品については1週間分を用意しているが、場所や予算確保についても検討する必要がある。今後、家庭備蓄も含めて村民の皆様への協力、広報もしていきます。

問 村退職者増と今後の取組みについて、1年間で多くの職員が退職し村政運営にも影響が出ていると感じている。村の健全運営の為に職員確保は大事である。職員との対話が大切と思うが。また、村長は在村率を多くし内政に力を入れるのは。

答 村としても退職者減及び職員確保に向けて真剣に取り組んで参ります。職員は少しでも心配ごとがあれば相談してほしい。また、村長の役割としては、村外との交渉事が重要であると考えていることをご理解いただきたい。

【全議案等、賛成で承認、可決、同意されました。】

- 令和6年度小笠原村一般会計補正予算(第5号)(専決処分)
- 財産の取得(金属スクラップ運搬用コンテナ)について(専決処分)
- 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 小笠原村村税条例の一部を改正する条例
- 令和6年度一般会計・特別会計・事業会計補正予算計5件
- 令和7年度一般会計・特別会計・事業会計補正予算計8件
- 小笠原村父島辺地及び母島辺地にかかる公共的施設の総合整備計画(令和5年度～令和7年度)
- 母島村民会館の指定管理者の指定について
- 小笠原村教育委員会委員の任命について
- 小笠原村農業委員会委員の選任の同意について
- 議員の派遣について
- 選択的夫婦別姓制度について慎重な議論を尽くすことを要請する意見書

総務委員会 3月12日

片股敬昌 委員長 平野悠介 副委員長

小笠原諸島世界自然遺産

世界自然遺産関連について以下の報告、質疑がありました。

○主な会議予定

12月20日

小笠原諸島世界自然遺産地域 地域連絡会議
(第2回) Web 開催

2月20日

小笠原諸島森林生態系保護地域部会 (第2回)

○村民向け普及啓発事業

オガグワの森イベント

3月1日実施 参加者：19名

【問】 オガグワの森、植栽したオガサワラグワの生育状況は。(平野)

○ペット条例について

3月24日、令和7年度第1回ペット条例審議会開催予定。

12～2月竹芝客船ターミナルにおける動物持ち込み数報告。

○ネズミ対策（平島他）について

平島：1月14日時点、自動撮影カメラにネズミ確認なし。

丸島・二子島：2月27日時点、カメラ調査にネズミ確認なし。

令和7年度より、平島及び小属島におけるネズミモニタリングは、環境省へ引き継ぐ。

東京都ネズミ対策（向島、姪島）、環境省ネズミ対策（兄島）について報告。

【問】 兄島殺鼠剤散布後、早々にカメラにネズミが確認。過去2回の実施の時は散布後どれくらいの期間でネズミが確認されたのか。(清水)

【問】 姉島、妹島のネズミ対策はどのように進めるのか。(安藤)

○世界自然遺産関連地域連絡会議

1月29日 世界自然遺産地域ネットワーク協議会開催。(開催地：徳之島)

4月中旬 第4回世界自然遺産5地域会議開催予定。

住宅政策

東京都小笠原住宅「母島沖村アパート」公募再開、母島シルバーピア設置検討、住宅モデル事業、父島・母島分譲地について報告、質疑がありました。

【問】 奥村分譲地の土地所有権移転、代金納入状況は。(杉田)

【問】 静沢分譲地今後のスケジュールはどうなっているか。(宮城)

令和6年12月の委員会以降の硫黄島に関する動き、硫黄島に係る連絡会議について報告がありました。

遺骨収集帰還事業について

第4回：1月29日～2月12日 収容柱数33柱

【問】多くのご遺骨がまだ多く眠られている。年間に100柱お迎えできるかどうか。このままの方法では、何年かかるかわからない。作業方法について実施主体の厚生労働省と調整はしているのか。（安藤）



訓練について

FCLP訓練、HRS訓練、潜水訓練、LCAC（エアークッション艇）訓練等

その他

- ・硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業（年6回実施予定）
第5回：1月24日～29日（実施）
第6回：3月26日～31日（予定）
- ・硫黄島及び北硫黄島旧島民の墓参（東京都主催）
2月13日（実施）
（対象：旧島民、参加数：54名）
- ・日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式（硫黄島協会主催）
3月29日（実施）
- ・硫黄島戦没者追悼式（東京都主催）
1月16日（実施）
（対象：遺族、参加数：36名）
- ・硫黄島慰霊巡拝事業（厚生労働省主催）
第2次慰霊巡拝 2月19日
（対象：遺族 参加数：50名）

令和6年12月の委員会以降航空路開設推進に関する動きについて、村長の陳情活動、東京都令和7年度小笠原航空路調査予算について報告がありました。

1月6日開催、「小笠原村議会オンライン会議に関する申し合わせ(案)」「小笠原村議会オンライン会議質問に関する申し合わせ(案)」については、全委員一致で決定。

2月28日開催、令和7年第1回定例会の運営、議会意見交換会・報告会の開催、意見書（選択的夫婦別姓制度）、議員報酬改正についての議論が行われ、「議会意見交換会・報告会」については、来年度村議会として実施することを決定。

3月10日、意見書（選択的夫婦別姓制度）について審議。委員長名で議長へ提出は行わないことを決定。

選択的夫婦別姓制度について慎重な議論を尽くすことを要請する意見書

小笠原村議会は、選択的夫婦別姓制度について、十分な議論をすることを求め、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣へ意見書を提出することを決定し、3月21日提出いたしました。

選択的夫婦別姓について慎重な議論を尽くすことを要請する意見書

近年、共働き世帯の増加、晩婚化、価値観の多様化、企業のグローバル化により、婚姻後に姓を変更する事に不都合・不利益を感じる方が増え、夫婦で異なる姓を名乗る選択肢を望む声が増えてきている。国では旧姓を通称として使用するにあたって、令和2年12月に政府が閣議決定した第5次男女共同参画基本計画に基づく対応を進めている。各省庁で対応が行われた結果、免許証、パスポート等については、旧姓併記ができるように改められてきている。しかし、旧姓併記は日本独自の仕様のため国外で活動される方に不都合も起きており、法的根拠が伴わない旧姓の通称利用では解決ができていない。

一方、現在の夫婦同姓制度は、最高裁判所大法廷において令和3年にも違憲ではないと判断されたが、夫婦の姓に関する制度については「国民の様々な意見や社会の状況の変化等を十分に踏まえた真摯な議論がされることを期待する」との意見が付され、国会に委ねられている。

よって、本村議会は、選択的夫婦別姓制度にとらわれることなく国民が、婚姻による改姓で不便さや不利益を感じることがないように配慮しつつ、夫婦間で異なる姓を名乗ることに関する議論を深め、「旧姓の通称使用の法制化」や「婚前氏属称制度」などを熟慮し、国会において真摯な議論を尽くすことを要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月19日

小笠原村議会議長
池田 望

全国町村議会議長会自治功労者表彰受賞

池田望議長、稲垣勇議員は、全国町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。この賞受賞資格は、「町村議会議員として27年以上在職し功労のあった者」となります。これまで、小笠原村民のためにご尽力されたことが評価され受賞が決定いたしました。



受賞おめでとうございます

全国町村議会議長会 令和6年度町村議会表彰受賞

小笠原村議会は、広報誌「議会だより」の充実、ホームページによる議会情報の発信、議会生中継をはじめ議会視聴機会を増やす取り組みが住民に開かれた議会として評価され、全国町村議会令和6年度町村議会表彰を受賞いたしました。

議長出張報告



出張日	出張用務
2月6日	全国離島振興市町村議会議長会第2回総会出席
2月13日	硫黄島戦没者遺骨引渡式、遺骨収集団解団式出席
2月17～19日	東京都新島村視察
2月19日	東京都島しょ町村議会議長会出席 東京都島嶼町村会・島しょ町村議長会第1回合同会議出席 東京都島嶼町村一部事務組合議会定例会出席
2月20日	東京都町村議会議長会第2回定期総会出席

2月17～19日に議員3名と新島村へ視察。海況が悪く式根島へ渡島することができず残念でしたが、当村と同じ1村2島。新島村のご協力もいただき新島村の政策・課題等を伺うとともに、新島村議会議員とも活発な議論が出来ました。視察した3名の議員とともにこれまでにない気付きを得ることができ、今後の村議会活動に取り入れていきたいと感じた視察となりました。

議長 池田 望

長崎視察～小笠原発見のルーツを求めて

宮城 ジャイアン

今年2月、長崎市を訪れました。江戸時代中期の1675年(延宝3年)に小笠原諸島を初めて巡検した嶋谷市左衛門がまさに長崎の方でした。その巡検の記録がなければ、小笠原が日本に属していなかった可能性があるのです。小笠原が日本でなければ世界第6位となる、この広大な排他的経済水域が日本ではなかったかもしれないのです。今年はその偉業から350周年になります。

当時の嶋谷市左衛門は69歳。鎖国の時代に遠洋航海の技術を持つ優れた船乗りだったようです。巡検は1か月強、30人を超える人数で行なったようです。その時に父島と母島にも上陸し、動植物や地形などを記録しています。

しかし、小笠原貞頼の伝説に比べ、この嶋谷の偉業はあまり知られていません。この度、嶋谷市左衛門小笠原巡検350周年記念事業実行委員会が発足し、その偉業を広く知ってもらうため私も村議会から委員として活動しています。私たちは長崎の市役所、歴史文化博物館の長崎学研究所を訪れ、古地図、資料などを確認しました。現在、長崎公園に設置されている碑に名前が彫られていました。そして、嶋谷家のお墓なども拝見し、なんと今回ご縁が繋がり、嶋谷家のご子孫にも会うことができました。これから今年1年、嶋谷市左衛門についてよく調べ、小笠原の皆さんにお伝えするために活動していきたいと思います。



二島一村の新島へ。

平野 悠介



2月17日から2泊3日で伊豆諸島の新島村へ視察へ行ってきました。二島一村で人口規模も小笠原と似ており、課題解決のヒントを得ることが目的です。新島へは調布飛行場から40分足らずであっという間に到着。19人乗りの飛行機が1日4回往復しているとの事でした。新島では、防災、保育園、給食センター、上下水、定住化、地域おこし隊、議会運営と多くの分野で視察・意見交換を行ってきました。村運営の勤労福祉会館に幼児向けの屋内遊技場が設置されていたり、保育園は0歳児から預かり、小中学校への子育て支援に関しては小笠原よりも充実していると感じました。



非常に情報量の多く内容の濃い3日間でしたが、海上模様が悪く、予定していた式根島訪問が出来なかったことは悔やまれます。次の機会があれば訪問したいと思います。

令和7年第2回定例会会議日程表（予定）

月日	開始時間	会議名	内容
6月11日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
6月12日（木）	午前 9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後 2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議等

現時点での会議予定です。会議日程については変更がある場合がありますのでご容赦ください。

● 議会映像の配信について

TV 11チャンネルで中継放送、Youtube でライブ配信を行います。
過去の議会録画中継は、アーカイブ配信しています。



議会映像配信

【小笠原村公式チャンネル】

URL：<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>

※今年度から TV での録画放送がなくなります。YouTube からいつでも見れますのでご利用下さい。

● 会議録について

会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

次の施設で閲覧できます。

- 村役場議会事務局 ○村役場母島支所
- 地域福祉センター図書室 ○母島村民図書室

また、パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。



会議録

小笠原村公式サイト → 議会事務局 → 会議録で

編集後記

令和7年度予算が可決した。終戦80周年の節目です。様々な追悼式が執り行われます。一人でも多くの村民の方々に献花を捧げていただきたいと願っています。「不戦と恒久平和」を祈りたいと思います。また、長崎の嶋谷市左衛門が小笠原諸島を巡検してから350年の節目の年でもあります。小笠原諸島が日本領有になる根拠となり、顕彰碑の建立等も執り行われる予定。大きな事業が展開されます。

全国規模で少子高齢化の波が大波になり、その影響は様々な職業で人材不足となっている。仕事も終身雇用の時代ではない。給与が高額になる一因にもなり、数年でやめる方も増えている。特に公務員の技術職の成り手不足が深刻。村でも頑張って募集をしているが中々見つからないとのこと。役場の職員が不足すると村民生活に支障をきたす。

4月からの民間企業の大卒の初任給が30万～40万に跳ね上がっている。警察なども30万になる。その格差も大きい。技術職不足が深刻化している。島で仕事をしないか多くの方に声掛けしている。人生100年時代。超高齢社会にならないように、若い世代が安心して住める島にしたいのでご協力をお願いします

安藤 重行

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp